

鏡石町立第一小学校改築

第一小学校は建設から40年余りが経過しており、東日本大震災で大きな被害を受けました。被害を受けた第一小学校の改築に向けては、基本設計が完成し、今後は実施設計を行うと同時に夏休みからは本格的な取り壊しが始まります。そこで、第一小学校の歴史や卒業生・在校生の思い出を振り返りながら、今月号では、新校舎の概要や今後のスケジュールをお知らせします。

新校舎は、地域連携施設としての交流室の設置、児童館・放課後児童クラブなどのためのスペースが確保されています。また、地域の応急避難場所（防災拠点）としての整備や駐

車場の確保、敷地内の緑化等についても配慮されたものとなっています。

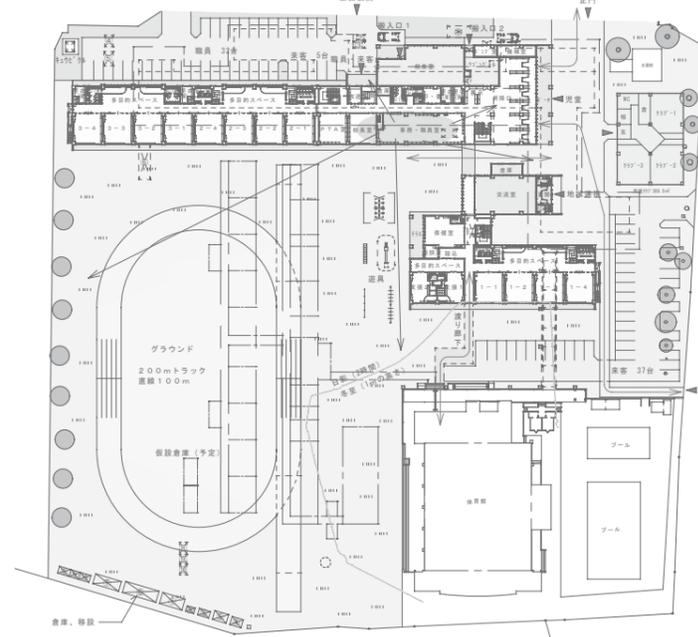
第一小学校基本計画

- ①安全・安心な学校づくり
 - 建物は最も堅牢な鉄筋コンクリート造で計画する。
 - 建物の低層化（2階建て）を図り、地震の揺れに対して子供たちや職員の恐怖心や、物品の落下等を極力抑えるよう配慮する。
- ②日照条件の良好な校舎配置
 - 学校で最も長時間生活する場である一般教室は、特に日当たりの良い位置づけとする。
- ③エコスクールの導入
 - 鏡石町は県内でも四季を通じて日照時間が長い地域であり、学校での使用電力に応じた太陽光発電システムを設置する。
- ④自然素材を活用した内装
 - 自然素材に囲まれた教室で生活することで、子どもたちの心理面や情緒面での安定につながる。
- ⑤機能的、快適性を兼ね備えた環境にやさしい建築
 - 外断熱と断熱サッシを採用

鏡石町立第一小学校完成模型



鏡石町立第一小学校完成配置図



校舎改築に関わる経過

- ◆一小的な沿革
- 明治 7年 8月17日 旧笠石村宝泉院に明石小学校を開校
 - 28年 1月29日 校舎新築
 - 昭和22年 4月 1日 校名改称(鏡石町立第一小学校)
 - 47年 3月21日 新校舎完成
 - 48年11月11日 創立100周年記念式
 - 平成21年 2月28日 耐震診断結果公表「耐震性Cランク」
「補強要」
 - 21年 9月 1日 校舎耐力度調査完了「危険建物」と判定
- ◆東日本大震災以後の経過
- 平成23年 3月11日 東日本大震災発生M9.0 震度6強
 - 4月 6日 新学期入学式は町公民館で開催、第二小学校及び構造改善センター(1学年)に分かれて授業開始
 - 4月16日 日本建築学会学校建築委員会から「改築が妥当」との確認書が届く
 - 8月25日 第2学期仮設校舎で授業開始
 - 11月10日 第一小学校改築に係る基本的な考え方について提言
改築検討委員長から町長に提言書を送付
 - 11月28日 第一小学校校舎改築に関する町基本方針の決定
 - 11月30日 町議会臨時全員協議会に「第一小学校校舎改築に関する町基本方針」を説明
 - 平成24年 1月17日 第一小学校校舎改築基本設計業務委託契約締結
委託期間 平成24年1月18日～3月28日
 - 3月28日 第一小学校校舎改築基本設計(案)成果品の納品
- ◆今後のスケジュール
- 平成24年4月 ～10月末 実施設計完成
 - 24年6月上旬～10月末 既設校舎解体工事
 - 25年1月 ～12月 校舎改築工事
 - 平成25年度3学期(平成26年1月)から新校舎での授業開始

旧校舎



明治7年の小学校創立から、昭和28年度、昭和34年度の増改築を経て、昭和43年度の老朽校舎の改築まで使用されました。昭和35年度には児童数1237名が学校生活を送っていました。

昭和47年の校舎完成以来、東日本大震災により使用できなくなるまでの42年間使用されてきました。昭和57年度には児童数1082名となり、教室も不足しましたが、近年の児童数は約650名程度となっています。

現在の校舎



東日本大震災により使用が出来なくなった学校校舎に代わり平成23年8月25日の2学期から現在も使用されています。これから新校舎完成までの約1年半を過ごすこととなります。

仮設校舎



新校舎概要

①設置場所	鏡石町中央1(現在の校舎位置)	
②面積	校舎 6,249.0㎡	
③教室等	普通教室(23室)	特別支援教室(2室)
	共通諸室(多目的教室等)	特別教室(理科教室等)
	管理諸室(校長室等)	給食室(調理室等)
	地域連携施設(交流室等)	その他(放送室等)

- ⑥緊急時の避難所としての役割
 - 今後起こりうる地震等の災害に強い学校として、耐震安全性の重要係数を1・25倍とし安全性を高める。
- ⑦周辺地域への配慮
 - 建物の低層化により、隣接地への圧迫感や日影の影響を少なくする。



高野 弘幸 PTA会長

私は昭和43年度入学だったので、旧校舎で入学して、4年生で今の校舎になったのが、思い出深いです。また、去年校舎の引っ越しを先生や保護者の約450名でやったのが思い出で、みんなでやるのが大切だと感じました。



林 実 同窓会長

私が小学生だった頃は、今の役場のあたりまで校舎があって大きかったのを覚えています。新校舎で育つ子供たちも今までの人たちに負けないように、この学校から立派な人材が育ってくれることを願っています。



児童代表
6年2組 真田 柊介君

現在の校舎で友達みんなと遊んだことや特設でサッカーをしたことは楽しい思い出です。新校舎でも楽しく過ごしています。僕は卒業してしまうけど、後輩たちには新校舎でも勉強を頑張ってもらいたいです。



石山 晃司 校長先生

新校舎には地域連携のための交流室もできます。鏡石町は学校応援団をはじめ地域と学校の連携があるので、それを活かしているような方に支えられながら、地域みんなに愛される学校づくりをしていきたいです。